

南ぬ風

夏号
Vol.1
2006.8~12

広報誌発刊にあたつて
特集1 財団設立30周年記念特別対談
特集2 財団設立30周年記念識者特別寄稿

理事長 富田 祐次

三好勝彦×富田 祐次





理事長
富田 祐次

Yuji Tomita

【みよた ゆうじ】1945年生まれ。'69年4月東京大学農業生物学科卒業。'69年5月建設省入省。'96年10月建設省都市局公園緑地課長。'98年6月(財)日本緑化センター常務理事。'04年6月(財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長

明治百年記念事業(国営武藏丘陵)
昭和五十年の沖縄国際海洋博覧会
が始まる前のある段階で、当時の政府の「海洋博跡地利用部会」において議論されたが、どの省からも具体的な利用案が出されていませんでした。それに対して、当時の沖縄開発庁の井上振興開発局長から、跡地を公園として利用して欲しいとの話がありました。私は昭和四十八年からこの関係を担当していましたので、「維持管理をきちんとしなければ、どんな立派な公園を作つてもだめです。

「公園は生きている」ということを常に忘れないでほしい

公園管理そのものが研究事業



沖縄に国営公園が開園

司会：花城良廣
本部長



社団法人日本公園緑地協会顧問
三好 勝彦

Katsuhiko Miyoshi

【みよし かつひこ】1926年生まれ。'50年3月北海道大学農学部卒業。'73年8月建設省都市局公園緑地課長。'81年5月(財)海洋博覧会記念公園管理財団理事長。'88年12月(財)公園緑地管理財団常務理事。'91年7月自然環境保全審議会委員。'92年7月(財)公園緑地管理財団副理事長。'98年11月勲四等瑞宝章受章



財団法人海洋博覧会記念公園管理財団
設立三十周年を迎えるにあたり、
当財団の歴史に詳しい三好勝彦氏(財団三代目理事長)と
富田祐次理事長に、国営公園の成り立ちの経緯や
これまでの財団の事業を振り返つていただくとともに、
これから財団の在り方について語っていただいた。

三好 はじめに、富田理事長、財団
設立三十周年を迎えましておめでとうございます。

昭和五十年の沖縄国際海洋博覧会
が始まる前のある段階で、当時の政府の「海洋博跡地利用部会」において議論されたが、どの省からも具体的な利用案が出されていませんでした。それに対して、当時の沖縄開発庁の井上振興開発局長から、跡地を公園として利用して欲しいとの話がありました。私は昭和四十八年からこの関係を担当していましたので、「維持管理をきちんとしなければ、どんな立派な公園を作つてもだめです。



創刊のご挨拶



海洋博公園 龜の浜



(財) 海洋博覧会記念公園管理財団は、今年設立30周年を迎えました。

これまで、当財団の活動に対しまして格別のご指導、ご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。当財団が管理運営を行ってきております国営沖縄記念公園の海洋博覧会地区と首里城地区は、合わせて年間500万人以上の利用者を迎える国営公園に成長し、沖縄の地域振興、観光振興の拠点としても定着しております。

また、財団の業務であります亜熱帯性動植物に関する調査研究、首里城に関する調査研究等につきましても、着実にその成果を上げてきているものと考えております。

そこで、この設立30年を機に、財団が業務を通して培ってきた知識や成果に関する情報を広く発信するため、このたび季刊誌『南ぬ風(ふえーぬかじ)』を創刊することにいたしました。

安全で生き生きとした社会の確立が求められ、また、地域から地球規模にわたる環境問題への対応が急務となっている現在、本誌が少しでも皆様のお役に立つことができれば幸いに存じます。

この『南ぬ風』をご高覧頂き、ご意見を頂き、情報を交流することにより、魅力ある公園づくり、環境の創造、地域の振興へと発展していくよう期待して、創刊のご挨拶といたします。

財団法人 海洋博覧会記念公園管理財団
理事長 富田 祐次

【経営理念】

沖縄の宝、地球の宝を次の世代へ

世界の宝・沖縄の自然と歴史を通して、

一つひとつの生命と出会い、

地球の素晴らしさや自然の大切さ、

時をかけて育まれた文化の尊さをまなび

豊かな未来へ継承・創造していきます。

そして、訪れたお客様に「感動」と「満足」をご提供します。

ふえー
南ぬ風
かじ

誌名『南ぬ風(ふえーぬかじ)』について
「南ぬ風」は梅雨明けとともに南から吹き込んでくる強い風のことです。この南の風によって育まれてきた沖縄の自然や文化をさらに「南ぬ風」に載せ全国に発信することを意味しています。

C O N T E N T S

03 特集1【財団設立30周年記念特別対談】

財団の30年を振り返って
三好 勝彦×富田 祐次

08 特集2【財団設立30周年記念識者特別寄稿】

「国営公園のパークマネージメント展開に
期待される財団の意義と役割」

田代 順孝 千葉大学園芸学部教授

「沖縄美ら海水族館に期待すること」

谷内 透 日本大学生物資源科学部教授

「美ら海水族館の宇宙」

加藤 秀弘 東京海洋大学海洋科学部教授

「あるエピソードに触れつつ」

高良 倉吉 琉球大学法文学部教授

12 沖縄の色・形
色が織り成す交響楽 紅型

14 沖縄日和
名人たち 文=又吉栄喜

16 Q&Aで紹介する財団の公益事業

「亜熱帯性植物に関すること」「亜熱帯性動物に関すること」
「首里城公園に関すること」

24 沖縄の民話

星砂の由来 監修=沖縄子供の本研究会

26 公園概要

海洋博公園 首里城公園

28 財団設立30周年記念事業のお知らせ
30周年記念事業一覧

29 公園NEWS

第20回海洋博公園マーチング・バンドフェスティバル/
首里城親子クイズラリー/海洋博公園子ども体験まつり/
入園・入館者数DATA

30 公園イベント情報

海洋博公園/夏休みの海洋博公園はイベントでいっぱい!
首里城公園/「琉球王朝 中秋の宴」・首里城祭
首里城基金事業のお知らせ

32 ふしぎがいっぱい公園点描
唐破風造



表紙イラストについて

沖縄美ら海水族館
東光一(あずまこういち)
一九五五年糸満市生まれ。'76年
東京デザイナー学院卒業。'88年
個展(ギャラリータカ)、「ト
ヨタ自動車」カタログ表紙イラ
スト13点製作。'96年「沖縄振
興開発金融公庫」カレンダー
画製作。「国立劇場おきなわ」
玉城朝薫の組踊ポストカード
製作。

整をした記憶があります。それがこの公園の出発の話です。

沖縄に独自の財団を

司会 国際沖縄海洋博覧会が終った後に整備される公園の管理を、財團が行うことになった経緯についてお聞かせください。

三好 国営公園という制度は当時無かつたのですが、先ほど話した「明治百年記念事業」として昭和四九年にオープンした埼玉県の森林公園を管理するため「公園緑地管理局」を設立しました。

沖縄の公園についても私どもは、直轄で管理する予定で予算要求をしていました。

しかし、公園管理については、既にある組織での対応を考えいましたが、本土と沖縄の気象条件の違い、また実際生えている植物等の違いもあることでは独自の「財団」が必要だと考え、地元と相談のうえ沖縄独自の財団ができました。



海洋博公園 沖縄美ら海水族館 [資料提供／国営沖縄記念公園事務所]

思いますが、東宮御所から「どういう公園になるのか」との説明を求められまして、日本公園緑地協会会長らと三人で東宮へ参り、ご説明を申し上げました。今の陛下は、皇太子時代に国際海洋博覧会の名誉総裁でもありますし、「おもろの時代」に想いがあり、意識しておられました。陛下は「おもろそうし」に出てくる植物が公園で見られる「面白いですね」とおっしゃいました。

私は早速その植物について調べたところ、「二十数種類の植物がありました。しかしその植物はおもろの時代の人々にとって生活に使われる植物であつて、観賞に耐えるような植物ではありませんでした。

そこで戦争で無くなってしまった建物等を考慮し、琉球弧といわれる奄美から与那国までの民家を再現した「おきなわ郷土村」を考え、その一角に「おもろ植物園」を作りました。

特に「おもろの時代」に想いがあり、強されておられました。

「薩摩侵攻」以前の沖縄の県民の心を意識しておられました。陛下は「おもろそうし」に出てくる植物が公園で見られる「面白いですね」とおっしゃいました。

ランの殿堂がオープン

司会 昭和五十五年にオーブンしました。首里城公園の国営については、色々な相談を受けました。「国営公園がひとつある間に二つは無理だ」という話と、元沖縄開発庁長官の植木先生が提案した「奈良県の飛鳥村のように、いくつかの公園をまとめて、ひとつの公園にする考え方もありますよ」ということが、結果として「植木構想」として実現しました。これが「沖縄記念公園」という名の二つの地区にわけた国営公園が生まれた経緯です。

三好 昭和五十一年の三月だったと同様に、三好先生は、首里城公園の整備について計画の段階から関わっていました。そのため、三十周年おめでとう」と言いましたが、やつと三十歳になつたと言ふことであつて、五十歳、百歳と、時間と共に世の中の変化や社会のニーズに対応して公園は育つて行くということです。

司会 三好先生は、「公園は概成である」と常々おっしゃっておられます。が、今後の国営公園のあり方については、どのようにお考えですか。

三好 先ほど、「三十周年おめでとう」と言いましたが、やつと三十歳になつたと言ふことであつて、五十歳、百歳と、時間と共に世の中の変化や社会のニーズに対応して公園は育つて行くということです。

司会 三好先生は、「公園は概成である」と常々おっしゃっておられます。が、今後の国営公園のあり方については、どのようにお考えですか。

三好 首里城の復元に關しては、昭和の初め頃に国宝として指定を頂くために大修理を行いましたので、その形は残っていました。しかし戦時に焼失したため、國場幸太郎さんを会長に年配の方々が、それを自分達の净財で復元しようとする集まりがありました。

司会 その熱帯ドリームセンターの運営も今年で三十周年を迎えます。熱帯ドリームセンターの開館と同時に三好先生が「沖縄国際洋蘭博覧会」を開催した意図はどのようなことだったのですか。

三好 日本もランの種類は多いのですが、そのランでもつて「非日常的夢の空間」を創り上げるには、園芸的な発想で「種間交配」だけではなくもうひとつの「属間交配」まで必

ことに、本土と沖縄の植物の種類が全く違うということでした。そのことで実は、私は、昭和五十一年の基本計画作成段階で「熱帯ドリームセンター」という名前で公園の中に「非日常的な空間」を作る計画を考えました。それを知った当時の県の野島農林水産部長からの提案で西銘知事名の要請文を受け取ったことから本格的に始まりました。

熱帯ドリームセンターを「ランの殿堂」として整備するに当たり、当時東京大学農学部の教授をなされたいた本間先生が退官されるのを聞きおよび、財団の常務理事としてお迎えすることにより、その展示内容の整備にご尽力頂きました。

私は、熱帯ドリームセンターを作った後の「ランを育てる人」をどう育てるかを考え、友人を通じ財団の職員または財団の推薦を受けた者を二年間ずつ東京でランの育成に関する研修をさせました。

司会 その熱帯ドリームセンターの運営も今年で三十周年を迎えます。熱帯ドリームセンターの開館と同時に三好先生が「沖縄国際洋蘭博覧会」を開催した意図はどのようなことだったのですか。

三好 日本もランの種類は多いのですが、そのランでもつて「非日常的夢の空間」を創り上げるには、園芸的な発想で「種間交配」だけではなくもうひとつの「属間交配」まで必

受けます」とお話ししたら、井上局長が「大蔵省の関係者を説得するから、後は頼みます」ということになりました。

その後に、跡地利用について沖縄県の屋良知事が私のところへ伺いました。知事からは「跡地を公園として利

用するについて、県民のためになるようお願いします」という言葉を頂きました。私は知事に「知事と頻繁に会うことは出来ませんので、知事の心を心とする人を紹介して頂けますか、その方と相談しながらどういう公園にするか検討していく品種も調べるなど、国際的な付き合いが必要だと思います」と申し上げたところ、その時一緒に来省された「平良企画調整部長」を指名されました。その後、平良さんと数十回にわたって調

いました。私は知事に「知事と頻繁に会うことは出来ませんので、知事の心を心とする人を紹介して頂けますか、その方と相談しながらどういう公園にするか検討していく品種も調べるなど、国際的な付き合

いが必要だと思います」と申し上げたところ、その時一緒に来省された「平良企画調整部長」を指名されました。その後、平良さんと数十回にわたって調

</

るのは、なかなか難しいことですが、

公園整備や管理に携わる人が、何とかの傾向を感じ取つて早めに準備していくことが必要だと思います。

三好 「何らかの傾向と言つのが難しいところですが、それを把握する

ためには自然環境や社会環境が沖

縄によく似た観光先進地に学ぶ必要があると思います。その点で私は観光入域客を飛躍的に伸ばしてきましたハワイに学ぶべきものが多いと思います。ハワイは土地の面積、本土と離島との関係、植物関係、軍の基地がある状態など非常に似ています。

沖縄開発庁などもハワイが教つてきた行政的施策をよく勉強なされて、沖縄観光の応援団になつてもらいたいと思います。

富田 広域的に利用されている点についてハワイと当公園は、まさに同様だと言えます。当公園における県外利用者の比率は、首里城公園が九割、海洋博公園が八割と、他の国営公園では類を見ない利用者形態となつ

たハワイに学ぶべきものが多いと思います。ハワイは土地の面積、本土と離島との関係、植物関係、軍の基地がある状態など非常に似ています。

沖縄開発庁などもハワイが教つてきた行政的施策をよく勉強なされて、沖縄観光の応援団になつてもらいたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で



首里城公園 [資料提供／国営沖縄記念公園事務所]

ています。その意味で開園から三十

年たつた今、当初の公園設置の目的であつた、沖縄北部地域の振興や沖縄観光の振興について海洋博公園は、しっかりと役割を果たしてきています。

公園地先の海の活用が必要かと思いつかりと役割として定着してきたと思います。また、その様な県外や海外からの広域的活用に、国が整備した公園の意味があると思います。特に水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これから公園整備としては、当公園地先の海の活用が必要かと思いつかりと役割として定着してきたと思います。また、その様な県外や海外からの広域的活用に、国が整備した公園の意味があると思います。特に水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

公園地先の海の活用が必要かと思いつかりと役割として定着してきたと思います。また、その様な県外や海外からの広域的活用に、国が整備した公園の意味があると思います。特に水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これからの公園整備としては、当公園地先の海の活用が必要かと思いつかりと役割として定着してきたと思います。また、その様な県外や海外からの広域的活用に、国が整備した公園の意味があると思います。特に水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

司会 財團が行う公益事業について、これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で

も多く有りますが、水族館のテーマとして「生き続ける水族館」、飼育生物が本槽内にて繁殖し、それが又

海外からの観光客も呼び込むという観点からは、海洋博公園に付随した第三の公園として、「黒潮の海」をテーマに水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

第三の公園として、「黒潮の海」をテーマに水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

司会 財團が行う公益事業について、これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で

も行うことになりました。

その様な調査研究事業等に対するようなことを期待されますか。

三好 調査研究事業を担当する職員は、植物系、動物系、首里城系も含めて、単なるプロデューサーや学芸員ではなく、それよりもプロ的な専門家としての育成を期待します。

海外からの観光客も呼び込むという観点からは、海洋博公園に付随した第三の公園として、「黒潮の海」をテーマに水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

司会 財團が行う公益事業について、これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で

も行うことになりました。

その様な調査研究事業等に対するようなことを期待されますか。

三好 調査研究事業を担当する職員は、植物系、動物系、首里城系も含めて、単なるプロデューサーや学芸員ではなく、それよりもプロ的な専門家としての育成を期待します。

海外からの観光客も呼び込むという観点からは、海洋博公園に付随した第三の公園として、「黒潮の海」をテーマに水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

司会 財團が行う公益事業について、これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で

も行うことになりました。

その様な調査研究事業等に対するようなことを期待されますか。

三好 調査研究事業を担当する職員は、植物系、動物系、首里城系も含めて、単なるプロデューサーや学芸員ではなく、それよりもプロ的な専門家としての育成を期待します。

海外からの観光客も呼び込むという観点からは、海洋博公園に付随した第三の公園として、「黒潮の海」をテーマに水族館については、非常に人気が高まりピーラーも増えていることから、観光施設として定着してきたと思います。

これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

司会 財團が行う公益事業について、これまでとこれからについてお話を伺いたいと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

三好 沖縄の海には、まだ名前も定まらない生き物が沢山いて、新しい生物や珍しい生物を導入する機会

分かりました。公園施設の延長線上として、そのザトウクジラが見学できる様な、もつと周りと連携した魅力

ある施設が作れればと思います。

ジンベエザメ・マンタの繁殖

司会 今度は水生生物の話ですが、沖縄美ら海水族館が開館し、調査研究のフィールドが充実してきています。三好 水族館で働いている職員は、魚が好きな人達ですから、海人とも仲良くしながら生の情報を収集するなど、飼育にも色々な意味で工夫をしていると思います。

二十年間も生き続けているツバメウオの群れで分かるように、その内容は世界一を誇る程になっています。これは職員の情熱と素晴らしい海施設などが、地域の人達の協力と、渾然一体となつた成果だと思います。

調査研究の成果として、亀も含めて、在来沖縄にいた魚類等が水族館で

国営公園のパークマネージメント展開に期待される財団の意義と役割

今般貴財団が設立三十周年を迎えるにあたって今後の更なる飛躍のため、期待と展開の方向について一言述べさせていただきます。

日本の国営公園制度が出来てから三十年が経過し、その間十六箇所の国営公園が開設され、きわめて多様でダイナミックな管理運営が展開されています。国営沖縄記念公園は海洋博覧会地区と首里城地区の二つを合わせた世界でもユニークな公園であり、亜熱帯地域の島嶼地域に存在し、高度な施設群を擁する観光拠点型都市公園の先駆的事例とみなせます。

この公園が果たしてきた役割のもつとも大きなことは観光という観点からの地域振興拠点であり、また歴史や文化の発信拠点であるということに尽きます。この観点から本公園の存在意義を「言えば地域振興の要としての都市公園の役割を果たしてきた」ということが出来ます。

このようなすばらしい公園が存続したのはひとえに管理運営を引き受けた貴財団の果たしてきた役割が極めて大きかったからであると考えます。すなわち沖縄美ら海水族館・熱帯ドリームセンター・首里城公園という世界第二級の施設を擁した最近の充実した施設群を核

とした公園のマネージメントシステムの完成に至るまで、通常の公園管理の技術開発を脈々と実践し、確実に技術水準を高め、その技術に裏打ちされた新たな管理技術の展開という、多様で持続的な仕組みが出来上がっていることがその根拠です。私はパークダイナミズム論を展開する一人であり、時間の経過とともに継続的な投資を行い、適切な管理運営を行なうことによって公園の価値と魅力が高まっています。この公園はまさに典型事例であるといえます。

一方、世界の公園界では新たなマネジメントのあり方をめぐる議論が活発に展開されています。イギリス、アメリカを中心とした公園先進国といわれる国では公園制度が出来てから百五十年以上経過し、管

理運営の思想が普及し、コストと出来高のパ

フォーマンスが評価の基盤として採用され

ています。時代背景を反映した公園ニーズの進化に伴って、提供すべきサービスの

内容と水準がより高度化される必要があります。その場合の評価の主役は利用者であり、満足のいく質の高いサービスが提供されて始めてユニーク、すなわちタッグサービスから高い評価を得られ、結果として投資する多様な主体の評価も得られるという図式が般化しています。

翻つて国営沖縄記念公園の場合を見ると、財團が培ってきたさまざまな技術および作ってきた仕組みが有機的に作用することによってより効果的なマネージメントシステムの構築が可能になり、今後の公園の拠点性はますます高まるることを期待します。この公園の立地は気象条件的に見て、植物管理においてきわめて困難な状況にあることは否めませんが、そのよろな悪条件を克服し、すばらしいアンドロケープを実現することは世界的に誇れる管理技術であるとの証であります。世界のモデル足りうると確信します。

以上簡単に期待を述べさせていただきましたが、世界有数の公園管理・運営の実績を今後さらに発展させるために亜熱帯地域や熱帯地域との公園連携を確立し、技術交流を重ね、外国でも通用する一般技術として开花させ、世界の公園界をリードするマネージメント母体になつていただきたいと念願いたします。

沖縄美ら海水族館に期待すること

(財) 海洋博覧会記念公園管理財団の創立三十周年おめでとうございます。

同公園のテーマ「太陽と花と海」の海を担う沖縄美ら海水族館は、世界あるいは世界初など冠がつく施設や飼育に関する記録をもつ、世界有数の水族館です。私は日本を含め世界の様々な水族館を訪れるたびに、いつもこの水族館のすばらしさを改めて思い起こします。私は前身の国営沖縄記念公園水族館時代から様々な面でお付き合いをさせていただきましたが、いつも思うことは関係者の皆様の海や海の生物に対する思い入れの深さと不斷の努力に対する敬意の念です。そこで、私は自分の研究に縁の深いサメやエイに限ってお話しさせていただくことにします。

昔初めてこの水族館を訪れた際に、日本で未だ記録されていない巨大なメジロザメが悠然と泳いでいるのにびっくりさせられました。内田館長にお聞きしたところ、まだ日本に記録されていないメジロザメの仲間らしいということで、忽然と游ぐ雄姿を觀察しました。その後、日本産のメジロザメ科の分類を整理する研究をしたこともあって、メジロザメ科の *Carcharhinus leucas* という種名か、タイワニヤジ *C. amboinensis* のどちらかだろうとお話ししました。ただ、最終的には歴を

調べる必要があり、不謹慎にも死亡の曉にはなど思つたりもしたことがあります。

内田館長からオオメジロザメという名前でどうだろかと問われ、このサメに相応しい名だとお答えした記憶があります。その後日本産のメジロザメのリストにウシザメ *C. leucas* の名が加わり、オオメジロザメと同じ種類だと言うことが分かつてきましたが、どちらの名称を使うかしばらくの間せめぎあいが続きました。しかし、当水族館の盛名があがるにつれ、オオメジロザメの名前が一般に使われるようになりましたことは喜ばしい限りです。このほか、私が日本周辺にいると報告したハビレというメジロサメの仲間も、前身の国営沖縄記念公園水族館で飼育されたことがあります。このように、当水族館に由来するサメやエイの名前が和名として使用されています。

サメやエイの繁殖や飼育に関する学術論文の多さも当水族館の業績の一つとして特記してもよろしいかと思います。ジンベエザメやマンタ(オニイトマキエイ)が同一水槽内で複数尾飼育されることについては、今更言うまでもないでしょう。飼育もさることながら、当水族館の業績の一につく、繁殖に関する様々な観察があげられます。サメやエイの交尾を含めた繁殖生態は、従来はごく限られた種類でだけ

知られていました。当水族館ではいろいろな種類のサメやエイの繁殖、特に交尾の様子を世界に先駆けて発表してきました。また、飼育も何世代にわたるもののが数多く存在します。さらに、水族館の観察だけではなく、野外におけるサメの繁殖生態も公にされています。特に、ジンベエザメが非胎盤型の胎生であること、ホホジロザメが卵食性の胎生であることなど、世界的な発見にも寄与されています。このように、学術面での貢献は他の水族館の追随を許さないといつても過言ではありません。

このように、過去、現在を問わず、展示面だけではなく、教育面や学術面での貢献も世界的に高く評価されています。教育と研究に携わる身にとって、願わくは、普及啓発活動もさることながら、研究面にも層力を入れていただけたらと願っています。というのも、飼育することによって明らかになる現象が多々存在するからです。我田引水になりますが、研究の成果は必ず展示の新奇性やおもしろさにつながつくると信じています。現在ジンベエザメの繁殖に取り組んでいるとのお話しですが、さらにマンタやホホジロザメの繁殖に取り組み希少な大型ザメ類の種の保存に貢献されることを願っています。

プロフィール



所属機関：日本大学
所属部署：生物資源科学部 海洋生物資源科学科
研究分野：深海性軟骨魚類の多様性に関する研究、沿岸性魚類の生活史に関する研究、淡水産板鰓類の生態と保全に関する研究
著書（単著）：鮫—the Sharks (ダイビングワールド社、1976年)、サメの自然史 (東京大学出版会、1997年)
（監修）：サメガイドブック (既存コミュニケーションズ、2001年)
（編書）：資源生物としてのサメ・エイ類 (恒星社厚生閣、1984年)、Indo-Pacific Fish Biology (Ichthyological Society of Japan, 1986)、Elasmobranchs as Living Resources (NOAA Technical Report NMFS 90, 1990)、海の生产力と魚 (恒星社厚生閣、1995年)、魚の科学事典 (朝倉書店、2005年)

日本大学
生物資源科学部教授
谷内 透
Taniuchi Toru

プロフィール

所属機関：千葉大学
所属部署：園芸学部緑地・環境学科
学年：工学博士
主な研究課題：ランドスケープデザインに関する空間構成原理の研究、都市の自然的空間の構成に関する研究
主な所属学会：日本都市計画学会、日本造園学会、農村計画学会、環境情報科学会、社畜学会
受賞等：1980年日本造園学会賞(論文部門)、1992年日本造園修景協会下山奨励賞

千葉大学 園芸学部教授
IFPRA(国際公園レクリエーション管理行政連合)会長
田代順孝
Tashiro Yoritaka

美ら海水族館の宇宙

創

立三十周年を迎えた海洋博覧会記念公園管理財団には、まず衷心より御祝いを申し上げたい。同財団の運営する美ら海水族館は、とりもなおさず、当代の水族館である。誰しも同じ印象を持つことではあるが、美ら海水族館のの大水槽には単なる飼育槽を越えた無限の宇宙が存在しているように感じたな時間軸を加えている。ここを訪れる人々がこの小宇宙によってどんなにか癒され、夢をはぐくみ、そして自然への憧憬と畏敬をどんなにか覚えることだろう。そこには、水族館本来の目的を満たす全てがあるかのようである。

しかし、一般民衆（もちろん私を含む）とは甚だ勝手なもので、水族館には多くのものを期待してしまう。例えば、イルカが迷入したり、クジラが座礁したりするともう水族館を思い浮かべる。況んやマスコミさらに言えば我々のような研究者グループも然りである。誠に、水族館に期待される社会的役割は多く、館長以下スタッフはますます多忙になつて行く。

こうした悩みは全国の水族館に共通したものであるが、沖縄美ら海水族館（以下前身水族館も含めてこう呼ばせて頂く）はこれらの社会的要を見事にこなした上に、さらに調査研究においても多くの業績を残し、我が国の南西海域の大規模な人工繁殖も視野に入れ、海牛がお借りし、美ら海水族館の海産哺乳類研究について少し触れておきたい。

美ら海水族館の頗著な業績をあげるとすれば、やはりザトウクジラの回遊研究を筆頭にあげたい。東アジア系のザトウクジラは毎年冬になると、南西海域の慶良間諸島や小笠原諸島を目指して繁殖回遊する。これら回遊実態については、研究時代に先鞭を受けられたあと、暫くは研究が行われていなかった。西脇先生が旧鯨研時代に先鞭を受けられたあと、暫くは高弟である内田詮三館長もおそらくはかなり気になっておられたはずで、一九九〇年に東海財團のバックアップの下、アジア海域ではいち早く個体識別作業に取り組まれ、今日のSPLASH計画などを経てザトウクジラの回遊実態や来遊頭数を解明しつつある。西脇先生もあちらで大いに溜飲を下げておられることだろう。

沖縄の至宝、ジュゴンの調査研究にも美ら海水族館は大きく貢献してきた。

多くの学術標本を有するだけではなく、将来的な人工繁殖も視野に入れ、海牛類の長期飼育にも実績を残してきた。また、今日では別種として認識されるようになつたミナミハンドウイルカ（*Tursiops aduncus*）は美ら海水族館によって見いたものであり、これらの飼育も含め憶に新しい。その他、座礁を通じた沖縄海域の鯨類相の解明等についての業績は枚挙のいとまがない、美ら海水族館は独自の特性を生かしつつ発展し、我が国有数の調査研究機関として内外に認識されている。

だから、館員の方々の多忙さが分かつていてもなお、私は美ら海水族館に期待したいのである。そして、大型動物の飼育水槽の向こうに広がる野生との橋渡しをしてほしい。調査や研究は無論のことだが、それ以上に飼育展示を通じた啓蒙活動に期待したい。そして、我々陸人（おかげ）が行くこともできないあの大水槽の向こうの宇宙を見せてほしい。ヒョットするといつか、ザトウクジラを、ジュゴンを見ることもできる日が来るのかも知れない。

あるエピソードに触れつつ

首里城復元の最終段階に忙殺されて

いる頃、住宅・都市整備公団の中山部長と福添課長の訪問を受けたことがあつた。開園後の首里城公園の管理・運営は、今の動きをそのまま放置すると、国営部分は海洋博覧会記念公園管理財団が県営部分は県の外郭団体がそれぞれ担当することとなり、本来二元的に管理・運営されるべきはずのものがバラバラになつてしまふがそれで良いのか、という関係者を集めて「首里城を考える会」を開いた。その会長に私がなつた。植木先生の沖縄講演会（於沖縄都ホテル）を主催し、国営・県営を二元的に管理・運営すべきだという案（いわゆる植木構想）を先生に打ち上げてもらうための受け皿としてつくられた会だつた。

講演会終了後、植木先生はただちに大田知事を表敬訪問してその案を力説し、また、その夜の知事招宴の場（於料亭那覇）でも再説された。それからまもなく、仲井真副知事から私の職場（浦添市立図書館）に電話があり、「首里城の管理・

運営は財団で良いのだな」と確認してきた。序議でこれから決定するので、私の意志を念のために確かめておきたいのだ

と説明していた。「ベストではないが、ベターであり、唯一の現実的な手だと思います」と私は答えた。

「考える会」が発足する以前、私は県の吉元政策調整監に会って趣旨を説明し、仲井真副知事にも同様に説明していた。そして、吉元政策調整監と中山部長福添課長の面談の機会をセッティングし、私もその場に立ち会つた。この一連の工作を通して県の側に二元的な管理・運営の必要性を理解してもらい、「植木構想」の提案につなげたのである。改めて中山・福添両氏コンビの労を多とし、肝に銘じておきたい。

あれから十五年ほどの歳月が過ぎたが、あのときの判断は間違つていなかつたと思う。国営・県営の両方を二元的に管理運営できる独自の組織を立ち上げる時間はなく、既存の組織でこれを担えるのは唯財団のみであったからだ。ただ、不安に思つたのは、海洋博地区とはその性格を異なる首里城地区に対する財団はそ

のノウハウを發揮できるだろうか、という点であった。

そのような不安はやがて消し飛んだ。

首里城公園の管理・運営を急遽担当することになった財団の職員たちは、開園に向けての短い時間を一〇〇メートル走者のように駆け抜けた。その短期決戦に付き合つた者の一人として、よくぞ一九九二年十一月三日の開園日を迎えることができたものだと今でも思う。

言うまでもなく、首里城公園には様々な多くの人々の思いが内蔵されている。その思いはかなりしも目に見えるわけではないが、これまでもそうであつたように、これからもまた多くの人々の思いを集め続けていくはずである。戦争や激動の歴史で失つた文化遺産を形として取り戻すだけではなく、取り戻すことの意味やハートを蓄積してこそ、首里城公園は深い魅力を發揮し続ける施設たりうると思う。

海洋博地区で磨き上げた蓄積と首里城地区で苦闘しながら積み上げてきた成果を融合しながら、財団として日々進化し続けることを切に期待したい。

プロフィール
最終学歴 愛知教育大学教育学部卒業 1971年3月
学位 博士（文学）九州大学 1993年
学位論文 琉球王国史の基礎的研究（An analysis of the basic systems in the Ryukyu Kingdom）
担当科目 琉球史演習、琉球史概論
専門分野 琉球史（Ryukyuan History）
主な研究課題 琉球史の内部構造に関する研究、琉球・アジア交流史に関する研究
歴史学研究会、沖縄歴史研究会
受賞等 1982年3月沖縄タイムス出版文化賞「琉球の時代」、1988年12月沖縄文化協会賞、比嘉春潮賞「琉球王国の構造」、1990年12月伊波普猷賞「琉球王国史の課題」、1997年1月沖縄研究奨励賞

琉球大学 法文学部教授
琉球史
高良倉吉
Takara Kurayoshi



プロ

フィール
最終学歴 北海道大学水産学部水産増殖学科卒業 1975年3月
学位 水産学博士（北海道大学）1986年
学位論文 南半球産ミンククジラの生物学的特性の経年変動と資源動態に関する研究
担当科目 海洋環境学、海洋生物学
専門分野 鯨類海産哺乳類
主な研究課題 南極海産ヒゲクジラ類の種間関係、ヒゲクジラ類の年齢査定、北太平洋産鯨類の資源管理、シロナガスクジラの回復計画など
主な所属学会 IWC（国際捕鯨委員会）、IUCN（世界野生生物保護連合）、PICES（北太平洋海洋科学機構）、日本哺乳類学会、日本水産学会、水産海洋学会、米国海産哺乳類学会、日本動物学会
受賞等 1999年4月科学技術庁長官賞（研究功績）「南洋ミンククジラの生態とその資源変動に関する研究」、2001年3月高知出版学術賞・編著「二タリクジラの自然誌」

プロ



東京海洋大学
海洋科学学部教授
加藤秀弘
Kato Hidehiro

色が織り成す交響楽



紅型土

沖縄を代表する工芸品といえば、誰もが思い浮かべるものに「紅型」がある。まばゆい南国の太陽にも負けない鮮やかな色彩は、見る人に強烈な印象を与える。

しかし、意外に知られていないのが紅型の製作方法である。

紅型のふるさとである古都・首里に、

琉球王朝時代から続く由緒ある工房を訪ねた。

取材協力／知念びん型工房



沖縄国際洋蘭博覧会出展者に贈られた紅型



コースター、ハンカチなど紅型を使った小物類



流水、かえで、きりの花、桜の模様。古典柄で着物や帯に使われる



工房の窓辺に置かれた紅型。首里の自然に映えて一段と鮮やか

「紅型」発祥の詳しい歴史は分かつていないが、現在の様式が出来上がったのは十八世紀頃だといわれている。「紅型」は琉球王府の庇護の下で育成され、士族の礼服や中国からの冊封使歓待の宴で演じられる御冠船踊などの衣装として重宝された。その着用は王族や士族に限られていたが、一八七九(明治十二)年の廃藩置県で琉球王国が解体されると、紅型も衰退していく。

しかし、琉球王府御用達の沢城、城間、知念の紅型三家はその技法を絶えざることなく受け継いでいた。そして、米軍占領下の戦後、文化人やマスコミの支援、琉球政府の援助などを受けて復活することになった。今回、取材で訪れたのは三宗家の一つ知念家直系の知念績元さん(63)の工房。那覇市首里の金城ダム近くにある工房は緑豊かな谷間に臨む静かな場所にある。知念さんは沖縄県指定無形文化財「びん型」保持者びん型伝統工芸士で沖縄伝統びん型保存会の会員

芸家の柳宗悦氏である。鮮やかな色彩が布地に浮かぶと、そこには独特な詩情が広がる。まさに色が織り成す“交響樂”的世界である。

紅型の製作工程はすべて手仕事で、最初は型紙作り(型彫り)から始まり、型置き(糊置き)、色挿し・刷り込み・隈取り(ぼかし)、糊伏せ、地染め、水元(水洗い)の順で進められている。工程の中でも紅型の命といわれるのが型紙作りで、「突き彫り」と呼ばれる独特の技法である。豆腐を乾燥させて作った「ルクジュー」という台に型紙を置き、型紙を切るのではなく、シーグ(小刀)で何回も突き刺しながら模様を彫っていくのである。根気のいる仕事だ。現在はあまり使われていないが、「糸かけ技法」という伝統技法がある。より戻した糸の一本一本で文様(絵柄)を固定する技法で神経をすり減らす作業である。現在は漆などを使った「紗張り」で簡単になっているが、この技法ができるのはもはや知念さんだけだといわれている。

型紙作りと同様に重要なのが文様である。

従来、紅型の文様は中国風の花鳥画や日本風のものが多かったが、知念さんは沖縄の自然や風物を積極的に採り入れている。このため日頃からデッサンを欠かさない。「現在はデザインの時代です。花や植物などをデッサンしていると物の見方も変わってきます。その意味でもデッサンは大事です」と知念さん。文様の花びらや葉の付き方などの微妙な違いを楽しそうに説明してくれた。

知念さんは毎年、海洋博公園で行われる沖縄国際洋蘭博覧会の出展者に贈られる紅型を十五年前から引き受けている。前年一度の大賞株をデザインしたテーブルセンター



色付けをする知念績元さん

で、その一角にはその年の干支がさりげなく描かれている。知念さんの細やかな気配りである。また、沖縄サミットの際には、海洋博公園の熱帯ドリームセンターに喜如嘉の芭蕉布にランの花々と紅型の古典柄を組み合わせてデザインした五連のタペストリーを作製した。これは現在も大切に展示され、入館されたお客様の目を引いている。この他、首里城公園では古典柄を使った昔ながらの伝統技法で衣装を作製地元金城町の旗頭も知念さんの手によるものである。

近年、紅型を習う若者が増えているといふ。知念さんは「単に技法を習うのではなく、スケッチをしっかりと学んでもらいたい。これが一番の基礎です」と強調。自然の色や形をしっかりと大切に語つてくれた。

でもある。

知念さんの名刺には「紅型」ではなく「びん型」とある。琉球王国から伝わってきた「びん型」に「紅型」の文字を当てたのは琉球古美術研究家で国の重要無形文化財保持者の鎌倉芳太郎氏。

工房では帯にする布地が幾十にも張られ、布地への染めが行われていた。紅型の場合は「色挿し」といわれるよう、独特の筆

筆はすべて知念さんの手作りである。

太いものから細いものまで仕事に合わせて使い分けていく。

染料は植物染料と顔料が併用される。植

物染料には琉球藍や福木、蘇木などがあり、

友禅などは筆で塗るように染めるが、紅型の

場合は「色挿し」といわれるよう、独特の筆

筆はすべて知念さんの手作りである。

糸で文様を固定した「糸かけ技法」の型紙



名人たち

作家 又吉栄喜

少年の頃、「名人」たちが近所にいた。

白髪頭の、病気持ちのマッコー(ハリツルマサキ)おじさんは奥さんを貢い婦に出し、毎日うつとりとマッコーの盆栽を眺めていた。平たい鉢のほんのわずかな土に葉が茂った根の太いマッコーや幹の真ん中が空洞になったマッコーを育てていた。

ある日、釣りをしていた時、自分の目を疑つた。マッコーおじさんが海岸の陥しい鋸歯の崖の途中にしがみつきながらハンマーを振り下ろし、根が割れ目に食い込んだマッコーを探っていた。

この日は、海面から出たキノコ岩に采螺(さざえ)おじさんが座り、煙草をふかしていた。足元の網袋には采螺が詰まっていた。采螺おじさんは水深五十センチほどの珊瑚礁の浅瀬を歩きながら水面にたつさざ波をものともせずに簡単に采螺を見つけた。またリーフの縁の深みに潜り、穴に潜んでいる采螺を獲つた。采螺おじさんは采螺獲りを至上の喜びにしていた。数個を泡盛のツマミにする以外は残らず近所に配つた。

一学年上の竹細工名人のAはいつも縁

生していたせいか、身が軽く「受け身」が上手かったのか、落ちた木登り名人は無傷だった。

Aは組み立て式の釣り竿を試用する時は私たちと海に出かけた。水を恐がる木登り名人は家に残つた。木登り名人はたまに私たちと海に出かけたが、毎回珊瑚礁の原に開いたクムイ(礁湖)に釣り糸を垂らす私たちを遠くから退屈そうに見ていた。

Aは波打ち際に立ち、六十センチほどの四本の竹を巧みにつなぎ合わせ、見事な一本竿にした。私たちは釣りに没頭できなかつた。自分たちのチンブク(竹の釣り竿)が貧弱に思えた。しかし、私たちが十匹釣る間にAの四段式の釣り竿には一匹しかからなかつた。

石のカマドを作り、釣った魚を乗せた。私は名人というほどではないが、火をおこすのが上手かつた。家の台所の火をおこすのは私の仕事だつた。空気がよく通るよううに太い薪を組み、小枝に火をつけ、一気に燃え上がらせた。

他に木登りトカゲを見つけるのが上手かつた。トカゲが動くからではなく(トカゲは人が近づくとじっと動かなくなる)、トカゲの色や形が木の色や形と違うからでもなく、「あついる」と直感的にわかつた。

馬の尻尾を竹の先に取り付け、トカゲ

側に座り、小刀や錐を巧みに操り、ソーミナーケー(鳥籠)を作っていた。Aは私たちと異なり、炎天下の遊びを敬遠した。だが、ソーミナーケーを仕掛けに行く時は大き

い麦藁帽子をかぶり、外に出た。集落内の木でも容易にメジロはかかつたが、何度も回収前にソーミナーケーもろとも誰かに持ち去られたという。Aは「木登り」名人の後輩と、誰かに後をうけられないように氣を配りながら山に入った。木登り名人は人に見つかりにくく奥まつた木に登り、ソーミナーケーを吊るした。

ソーミナーケーを取り外しに行く時にAは私たちにも声をかけた。木登り名人は取り外したソーミナーケーを持ったまま細い枝に両足をかけ、逆さにぶら下がり、しばらく戯けた。

木登り名人はソーミナーケーをAに手渡し、別の木に登つた。ソーミナーケーの中のメジロは疊りながら飛び跳ねていた。時々小さい器の水や餌をついぱんだ。

高い木のてっぺんにある鳥の巣に手を伸ばした瞬間、木登り名人を親鳥が襲撃した。私たちは悲鳴を上げた。下に草が密

*マッコー(ハリツルマサキ)
ツルウメモドキ科の半落葉常緑低木。



又吉栄喜(またよしこ)

一九四七年沖縄県浦添市生まれ。琉球大学史学科卒業。「ジョージが射殺した猪」で第八回九州芸術祭文学賞、「ギンネン屋敷」で第四回すばる文学賞、「豚の報い」で第百十四回芥川賞を受賞。二〇〇二年よりすばる文学賞選考委員を務める。最新刊は『巡回の首』(講談社)、『鯨岩』(光文社)。

question and answer

Q&A

Q&Aで紹介する 財団の公益事業

国民の心身の健全な発達を目的に国営沖縄記念公園（海洋博覧会地区・首里城地区）の維持管理を行っている財団法人海洋博覧会記念公園管理財団は、公益事業として、亜熱帯性動植物に関する調査研究及び技術開発ならびに知識の普及啓蒙、首里城に関する調査研究及び知識の普及啓蒙事業を行っています。広報誌の創刊号として今回、広報誌編集局が各々の事業について担当者に密着取材を行い、現在の事業内容や工夫していること、苦労話などを伺いました。



世界最大の花 ラフレシア

【Q1 question】
【亜熱帯性植物に関すること】
調査研究活動とは、どういう活動なのですか？

サルスベリ（ミソハギ科）、アツバノボタン（ノボタン科）等があるのでないでしょうか。また、ラン類について言えば、熱帯ドリームセンターの開園前後を機に、多くのラン類を導入しました。その後県内外に広がったといつても過言ではないと思っています。また、最近、各家庭の庭先等によく見られる洋蘭の露地植栽もその一つと考えています。30年前では、考えられたことでした。

沖縄の野生植物の保護活動は、何か取り組んでいますか？

Q4 question



ラン類の育成室

サルスベリ（ミソハギ科）、アツバノボタン（ノボタン科）等があるのでないでしょうか。また、ラン類について言えば、熱帯ドリームセンターの開園前後を機に、多くのラン類を導入しました。その後県内外に広がったといつても過言ではないと思っています。また、最近、各家庭の庭先等によく見られる洋蘭の露地植栽もその一つと考えています。30年前では、考えられたことでした。

沖縄の野生植物の保護活動は、何か取り組んでいますか？

Q5 question

沖縄県の絶滅のおそれのある野生生物（レッドデータおきなわ2006）には、種子植物で846種が記載されています。その減少の要因として森林伐採等の開発行為、園芸用等との自然的要因、帰化植物等多種の進入等の人為的要因等があげられています。そのまま放っておけば、自然と絶滅する種も多くあります。当財団では、生物多様性を保全する観点から沖縄産希少植物の保護及び増殖技術の調査を行っています。その植物の絶滅をふせぐには、保護及び増殖技術を確立しておることが重要ではないかということです。増殖した植物を自生地にもどす、もどさないかなどということは、その後の問題などと考えています。現在、保護及び増殖技術の確立ができる植物、或いは目指している植物は、オリヅルスミ（スマレ科）、リュウキュウベンケ（スマレ科）、リュウキュウベンケ

呼んでいますが、かなりの種類があります。その、たくさんの種類の中から街路樹、公園樹、庭園樹等として利用可能な花木類等、また、グランドカバーとしての草花類、熱帯ドリームセンター等で展示しているラン類、熱帯果樹類、更には、最近、流行のアロマセラピー（芳香療法）や薬用等として利用可能な植物等を選出していきます。ですから、なんらかの形で利用できそうな植物をまず収集し、その植物が沖縄の気候、風土にあってるか、或いは、適応できるかどうか調査するわけです。場合によっては、栽培・増

これまで導入して普及した植物は、何かありますか？

場合には、果肉類をすべてはぎ取らなければなりません。しかも、きれいに。その準備作業が大仕事になります。果肉をはぎ取るのに、ホテルのトイレを詰ませたとか、果肉が残つて発酵して虫が発生、持ち帰りがだめになつたとか、エピソードもたくさんあります。



ラン類の露地植栽(熱帯ドリームセンター)

Q3 question

実際、植物の収集はどのように行っているのですか。
また、国内へ持ち込むのは難しくはないですか？

Q2 question

そうです。いろいろ問題点があります。まず、収集に出かける機会です。何かと理由がないと、海外なんて、まず、いけません。主な機会としては、（社）日本植物園協会の主催する「植物調査隊」また、（社）沖縄県造園建設業協会と当財団が共催する「海外における都市緑化調査研修」に参加すること等が必要になります。別のルートも無いわけではありません。

次に、植物の国内への持ち込みですが、植物を持ち込むには、それが持ち込める植物かどうか調べなければなりません。また、果実などを持ち込む

化関連催事への協力、更には、ラン類の無菌培養研修、熱帯植物の管理技術研修生等も受け入れています。その他、これまでに収集してきた植物素材の世界の民具、繊維、種子等の展示資料も随時貸し出しています。最近、それらの展示資料が引っ張りだこです。

これまでの成果は、どのように公表していますか？

Q6 question

一年間の調査研究及び普及啓発事業を調査研究年報として刊行しています。また、講演会、発表会で公表することもあります。調査研究年報等は無料で関係機関へ配布しています。また、これまでに熱帯・亜熱帯都市緑化植物図鑑、沖縄の植物図鑑等を発行しています。

これまでの調査研究及び普及啓発事業を調査研究年報として刊行しています。また、講演会、発表会で公表することもあります。調査研究年報等は無料で関係機関へ配布しています。また、これまでに熱帯・亜熱帯都市緑化植物図鑑、沖縄の植物図鑑等を発行しています。



希少植物等育成温室

アモルフォファラス・チタナム及び世界のバオバブ等の導入及び栽培技術の確立を目指します。

環境面では、都市地域における屋上緑化・壁面緑化について利用可能な植物の選抜等を行い推進していくことを考えてます。次に、学校等に着目し、緑化技術の指導や校庭緑化としての芝草地の造成技術等の開発、特殊環境においては、ポーラスコンクリート等を利用した緑化技術の開発等を考えています。また、在来植物の有用化に関して絶滅危惧種であるリュウキュウベンケイを用いた新園芸品種の作出等も実施したいと考えています。まだ、あります紙面の制約がありますので、このへんで終わります。

補足ですが、これまで蓄積されてきた資料をまとめ、沖縄の熱帯果樹図鑑、野生ラン図鑑等も、今後発刊する予定です。

調査研究及び技術開発では、県内の栽培管理が難しいマンゴスチン、ランプータン等の熱帯果樹の開花・結実に向けた調査、世界最大のコンニャク・



造礁サンゴ分布調査

Q4 question

A サンゴについて、その分布や移り変わりの調査等を行っています。これらの結果を基にサンゴの保全方法を模索しているところです。サンゴの海水槽では、毎年6月頃にサンゴの放卵・放精が見られます。この時多くのサンゴ卵が得られますので、これを用いてサンゴが卵からどのように成長していくかについての研究を進めています。



調査結果の一般公開風景。「深海ザメ展」

淡水域の調査はどのようなものがありますか？

Q5 question

A 沖縄県の陸生生生物は固有種の多いことが知られていますが、これは河川の生物にも言えます。これらの固有種が、環境の悪化によって減少していく傾向にあります。そこで当財団では、沖縄の河川に生息する淡水魚の種数との実態調査として、分布調査や生息環境調査を行っています。川の魚は人間の活動によって発生する汚染により直接の被害を受けますので、この調査の結果を通じ、川や海を汚さないこと、貴重な種を保存していくことの大ささを強調していかなければいけないと考

めています。サンゴの卵は自然界で採取することが難しく、多くの研究者が当財団との共同研究を希望しています。

A 研究成果は、学会での発表や、業績集の発刊を行い関係機関に配布するなどして公表しています。

知識の普及啓発活動としては、海生物に関するシンポジウムや、イベントの開催、企画展示内容を小冊子にまとめ一般に配付しています。また、団体や学校などの依頼を受け、職員を講師として派遣し、講演会を開催したり、研修生や生徒の体験学習の受入を行うなど積極的に水生生物に関する知識の普及啓発に努めています。

これまで沖縄周辺海域の深海生物層についてはほとんど調査がなされておらず、特に魚類以外の無脊椎動物はほとんど資料がないのが実情です。

そこで深海生物層における生物多様性の解明と深海生物の飼育展示による当水族館の独自性を展開するため、無人潜水ロボット「はくよう2000」をチャーターし八重山諸島海域の水深約300m～1000m地点において深海生物の採集及びビデオ撮影を行いました。採集生物80種183点を水族館へ搬入したほか、深海生物の画像を

Q6 question

深海生物調査とはどのようなことを行っているのですか？



日本初採捕記録となった「オキナハコエビ」

河川の生物にも言えます。これらの固有種が、環境の悪化によって減少していく傾向にあります。そこで当財団では、沖縄の河川に生息する淡水魚の種数との実態調査として、分布調査や生息環境調査を行っています。川の魚は人間の活動によって発生する汚染により直接の被害を受けますので、この調査の結果を通じ、川や海を汚さないこと、貴重な種を保存していくことの大ささを強調していかなければいけないと考

めています。サンゴの卵は自然界で採取することが難しく、多くの研究者が当財団との共同研究を希望しています。

これまで沖縄周辺海域の深海生物層についてはほとんど調査がなされておらず、特に魚類以外の無脊椎動物はほとんど資料がないのが実情です。

そこで深海生物層における生物多様性の解明と深海生物の飼育展示による当水族館の独自性を展開するため、無人潜水ロボット「はくよう2000」をチャーターし八重山諸島海域の水深約300m～1000m地点において深海生物の採集及びビデオ撮影を行いました。採集生物80種183点を水族館へ搬入したほか、深海生物の画像を

魚類については、どのような調査を行っていますか？

Q7 question

魚類については、どのような調査研究を行っていますか？

魚類に関する調査研究では特にサメ、エイ類の生態学的研究に力を入れてきました。沖縄美ら海水族館の目玉といえ、ジンベエザメとオニイトマキエイですが、これらが飼育できるようになったのも、本種に関する調査研究を長年行つてきた賜です。

また、最近では沖縄近海で採取される、未だ名前の付いていない深海生物について生物学的調査研究を推進しています。動物の研究の基本は、動物の標本を作製し、その体調べて種類を決定することから始まります。もちろん魚もし

めています。サンゴの卵は自然界で採取

されています。サンゴの卵は自然界で採取されること、更に良き飼育状況を反映している飼育下繁殖を計ることです。そのための研究として、飼育環境の保全に係る飼育施設の改善や水質の確保、餌料が健康へ及ぼす影響及び病気の治療技術の開発等を行っています。

海洋博以降の30年間の成果としてサメ・エイ類では、世界最長飼育記録のオオメジロザメ28年間を始めとして、トラフザメ、ヤジブカ、マダラトビエイなどがあり、水槽内繁殖も17種があげられ、世界最多記録です。今力を入れているのが黒潮の海大水槽で飼育し

めています。サンゴの卵は自然界で採取されること、更に良き飼育状況を反映している飼育下繁殖を計ることです。そのための研究として、飼育環境の保全に係る飼育施設の改善や水質の確保、餌料が健康へ及ぼす影響及び病気の治療技術の開発等を行っています。

海洋博以降の30年間の成果としてサメ・エイ類では、世界最長飼育記録のオオメジロザメ28年間を始めとして、トラフザメ、ヤジブカ、マダラトビエイなどがあり、水槽内繁殖も17種があげられ、世界最多記録です。今力を入れているのが黒潮の海大水槽で飼育し

めています。サンゴの卵は自然界で採取されています。サンゴの卵は自然界で採取されること、更に良き飼育状況を反映している飼育下繁殖を計ることです。そのための研究として、飼育環境の保全に係る飼育施設の改善や水質の確保、餌料が健康へ及ぼす影響及び病気の治療技術の開発等を行っています。

海洋博以降の30年間の成果としてサメ・エイ類では、世界最長飼育記録のオオメジロザメ28年間を始めとして、トラフザメ、ヤジブカ、マダラトビエイなどがあり、水槽内繁殖も17種があげられ、世界最多記録です。今力を入れているのが黒潮の海大水槽で飼育し

めています。サンゴの卵は自然界で採取されています。サンゴの卵は自然界で採取されること、更に良き飼育状況を反映している飼育下繁殖を計ること



活躍を続けて30年、ミナミバンドウイルカのオキちゃん

もに、それらの知識及び自然保護の必要性等について普及啓発活動を行っています。

小型鯨類について具体的に行っているのですか？

A ミナミバンドウイルカ等の小型鯨類に関する調査では、一般の方から情報に基づき、港や川への迷入、陸への座礁、定置網等での混獲、死体漂着や浮遊個体等について現地調査を行います。収集した標本から種類の特定や胃の内容物からの食性、DNA等による生物学的調査を行います。そのことによって、確実に種類の同定や生態的特性を把握することができます。

Q1 **question**

海獣課では、どのような調査研究をされていますか？

A ここでは、海生哺乳動物や水生昆虫類の調査研究として、イルカ等の小型鯨類やホエールウォッチングの目玉となるザトウクジラ、人魚のモデルといわれるジュゴン、ベッ甲細工で有名なタイマイを中心とするウミガメ類等について、野生個体に関する生物学的・生態学的調査及び飼育個体に関する生理、生態、とりわけ生殖、病理などについての調査研究を行っています。そこから得られた研究成果を基に、飼育技術・展示解説の向上を図るなど



美ら海水族館の協力によって読谷定置網から放流されるザトウクジラ



鯨類にはどのような種類がありますか？

A 現在、クジラの仲間は全世界で82種類確認されています。クジラは「ヒゲクジラ」と「ハクジラ」に分けることができます。ミナミバンドウイルカやオキゴンドウが「ハクジラ」の仲間で、ザトウクジラが「ヒゲクジラ」の仲間になります。

1975年の海洋博當時には沖縄の海のクジラ類のリストがありませんでした。その後、当公園水族館の30年間の調査でヒゲクジラ7種、ハクジラ21種、計28種の出現が確認され、リストが完成しました。

Q2 **question**

ザトウクジラの調査は、どのようなことをするのですか？

A 沖縄近海には、冬季に繁殖のためにザトウクジラが回遊してきます。過去20年間にわたり水族館が東海財団の助成により個体識別調査を実施していました。現在はこれを継承して、ザトウクジラの回遊経路の解明や資源量の調査を行っています。慶良間周辺海域、本部半島周辺海域のザトウクジラについて、尾鱗腹側にできる模様の撮影による個体識別調査、表皮サンプルの採取によるDNA調査などの個体情報の収集を行っています。

また、ザトウクジラの生態学的手段として鳴音調査を実施しています。



公園で飼育している個体の調査研究については、人工尾びれのイルカ、フジが話題になりましたね。



公園で飼育している個体の調査研究については、人工尾びれのイルカ、フジが話題になりましたね。

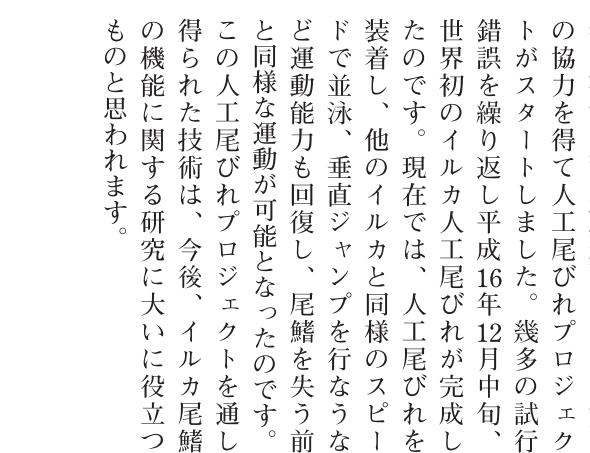
A 飼育中のバンドウイルカ「フジ」が感染症及び循環不全のために、尾鱗の両端から壞死が進行しました。これまでの疾病治療技術の向上のみではなく、運動機能回復を含め更なる健康管理技術の向上の必要性と、イルカ尾鱗を科学的に検証したいとの思いから人工尾びれ案が提案されました。(株)ブリヂストン社、アクリル造形作家葉師寺一彦氏、東京大学の流体力学の研究者など多くの方々の協力を得て人工尾びれプロジェクトがスタートしました。幾多の試行錯誤を繰り返し平成16年12月中旬、世界初のイルカ人工尾びれが完成しました。現在では、人工尾びれを装着し、他のイルカと同様のスピードで並泳、垂直ジャンプを行なうなど運動能力も回復し、尾鱗を失う前と同様な運動が可能となつたのです。この人工尾びれプロジェクトを通じ得られた技術は、今後、イルカ尾鱗の機能に関する研究に大いに役立つものと思われます。

Q3 **question**

研究の成果をどのように公表していますか？

A 学会での発表や、多くの講演会、研究会等において調査研究の成果を公表しています。また、水族館の研究年報を作成し関係機関へ配布しています。

ザトウクジラ調査では日本近海の鯨類基礎調査結果を、小冊子にまとめ関係機関及び一般の方々に配布しました。2006年2月には、当財団が主体となり「鯨学と海牛学、進歩の現況」と題した国際シンポジウムを開催しました。その他、水生生物にふれあいながら生態などを学ぶことができるウミガメ放流会や、イルカ観察会などを開催しています。また、学校や教育団体からの依頼により、生徒、学生を受入れ、体験学習や飼育実習も行っています。



イルカふれあい体験とレクチャー風景

Q6 **question**

飼育個体については他にはどのような研究をしていますか？

A 現在、飼育動物に関しては、イルカ類、ウミガメ類の生理生態や繁殖生態についての調査研究を行っています。

具体的には、イルカ類の輸送実験として、輸送時におけるイルカの皮膚乾燥や体温上昇防止に効果のある体表面塗布剤の開発、自己体重による圧迫軽減策としてのマットレスの開発を行っています。また、飼育イルカの疾病原因が細菌、真菌による感染症が多いことから、その検査技術の向上に努めています。

その他、水槽内での自然交配による飼育下繁殖を推進するとともに、将来的には、イルカ類、ウミガメ類の人工授精技術の確立を目指した研究も進めています。



人工尾びれをつけたフジ



ウミガメ放流会での一コマ

A いいえ、ウミガメの人工繁殖技術はまだ確立出来ていません。あの子ガメは、ウミガメ館の産卵場や公園内の浜で自然繁殖した個体です。孵化した子ガメを1年間飼育したうえで、「ウミガメ放流会」で皆様の手から放流して頂いております。

放流時にはウミガメに標識を取り付け、ウミガメの回遊調査も実施しており、これまでに約1,600匹の子ガメを放流しました。

実はその回遊調査で、沖縄で放流したアカウミガメがアメリカのサンディエゴ沖に到着し、本種が太平洋を横断する事を、世界で初めて実証することが出来ました。

A 学会での発表や、多くの講演会、研究会等において調査研究の成果を公表しています。また、水族館の研究年報を作成し関係機関へ配布しています。

ザトウクジラ調査では日本近海の鯨類基礎調査結果を、小冊子にまとめ関係機関及び一般の方々に配布しました。2006年2月には、当財団が主体となり「鯨学と海牛学、進歩の現況」と題した国際シンポジウムを開催しました。

その他、水生生物にふれあいながら生態などを学ぶことができるウミガメ放流会や、イルカ観察会などを開催しています。また、学校や教育団体からの依頼により、生徒、学生を受入れ、体験学習や飼育実習も行っています。



イルカふれあい体験とレクチャー風景

公園概要

首里城公園 SHURIJO CASTLE PARK

琉球王国の政治、外交、文化の中心地として威容を誇った首里城は、去る沖縄戦で焼失しましたが、一九九二年、沖縄の本土復帰二十周年を記念して復元されました。その中国と日本の築城文化を融合した獨特の建築様式や石組技術には高い文化的・歴史的価値があるとされ、二〇〇〇年には、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」として世界遺産に登録されました。鮮やかな朱色に彩られたその姿は、「琉球王国の往時の歴史・文化の息吹を伝える殿堂であり、沖縄のシンボルそのものといえるでしょう。

世界遺産



⑥万国津染の鐘
(ばんこくしんりょうのかね)

1458年首里城正殿に掛けられた鐘(レプリカ)



⑦守礼門(しゅれいもん)

尚清王時代(1527~1555)に創建。
「守礼之邦」とは礼節を重んずる国という意味です。

首里城公園見学コース

一般コース
バリアフリーコース

入館料金

※車イスもご利用になります。

	大人	中人 (高校生)	小人 (小・中学生)	6歳未満
一般	800円	600円	300円	
団体	640円	480円	240円	無料
年間パスポート	1,600円	1,200円	600円	

●正殿、南殿・番所、北殿、奉神門のある区域は有料ですが、それ以外の場所への入園は無料となります。

●団体は20名様以上

開館時間

- 4月～ 6月 (9:00～19:30) 入館券販売締切19:00
- 7月～ 9月 (9:00～20:30) 入館券販売締切20:00
- 10月～11月 (9:00～19:30) 入館券販売締切19:00
- 12月～ 3月 (9:00～18:30) 入館券販売締切18:00

休館日

維持管理上、毎年7月の第1水・木曜日を休館日とさせていただきます。

首里杜館 駐車場	● 4月～ 6月 8:30～20:30 ● 7月～ 9月 8:30～21:30 ● 10月～11月 8:30～20:30 ● 12月～ 3月 8:30～19:30
-------------	--

首里杜館 駐車場 ご利用料金	● 大型車 940円(回数券11回分9,400円) ● 小型車 310円(回数券11回分3,100円)
----------------------	--

首里城公園管理センター



⑤飲食門(かんかいもん)

首里城の城郭内に入る第一の正門。尚真王時代(1477～1526)創建されました。

⑥首里城正殿(しゅりじょうせいでん)

約450年にわたり琉球王国の居城として政治・経済・文化の中心でした。



海洋博公園 OCEAN EXPO PARK

海洋博公園は、昭和五十年に開催された沖縄国際海洋博覧会を記念して、翌五一一年に開園しました。約七十ヘクタールの広大な敷地は豊かな自然をいかして整備され、公園のテーマである「太陽と花と海」をイメージした三つのゾーンに分かれています。園内には、それぞれのゾーンを代表する沖縄美ら海水族館、熱帯ドリームセンター、海洋文化館をはじめとして様々な施設があり、沖縄の主要な観光施設として一年を通して多くの来園者をお迎えしています。



⑦エメラルドビーチ

このビーチでは約3,000人が遊べます。
シャワー室完備

③海洋文化館

海洋民族の生活用具と漁労具を展示しています。また、映像ホールではプランテリウム映像を投影しています。

⑥おきなわ郷土村

17世紀から18世紀までの沖縄の村落を再現しています。また、「おもろさうじ」にうたわれている22種類の植物を展示しているおもろ植物園もあります。

②熱帯ドリームセンター

ランを始め色鮮やかな花々がいっぱいの癒しの空間です。

⑤オキちゃん劇場

④熱帯・亜熱帯都市緑化植物園

街路樹見本区、耐潮風植物見本区、生け垣見本区等があり植物管理センターの豊富な資料と共に緑に関する知識を深めることができます。

⑥いるかスタジオ

⑤マナティー館

●エメラルドビーチ遊泳時間

期間	8:30	17:30	19:00
4月1日～4月30日	公園開園時間	施設入館時間	
5月1日～8月31日	公園開園時間	施設入館時間	
9月1日～3月31日	公園開園時間	施設入館時間	

●各施設利用案内

	入場料	ショーカウ	ショータイム
オキちゃん劇場	無料	1日4回 (1回約15分)	11:00 13:00 14:30 16:00
いるかスタジオ	無料	1日3回 (1回約15分)	11:50 13:50 15:30

●入園無料

●有料施設料金表

施設名	一般		团体		6歳未満
	大人 (高校生以上)	小人 (小・中学生)	大人 (高校生以上)	小人 (小・中学生)	
熱帯ドリームセンター	¥670	¥340	¥530	¥200	無料
海洋文化館	¥170	¥50	¥80	¥30	無料

※団体料金は20人以上
※大人・高校生以上

※小人・中学生

※6歳未満は無料

※年間パスポート: 大人3600円、高校生2400円、小・中学生1200円

※入館料金の免除について: 身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳または療育手帳をお持ちの方は、水族館、海洋文化館、熱帯ドリームセンターの入館料金が免除されますので、券売所で手帳をお見せください。なお、身障者を含む団体の場合、身障者以外の方は団体料金で入館できますので、各館の窓口へお申し出ください。

※年間パスポート:



公園 NEWS

県内各地の小中高校の吹奏楽部等によるマーチング・バンド等の演技の披露を行う海洋博公園マーチング・バンドフェスティバルが今年も開催されました。今回で二〇回目の開催となり、県内学生のマーチング・バンド技術の向上に貢献してきました。参加校も今回は十四校・四九六名の生徒が参加しました。晴天にも恵まれ生徒たちの妙技を三、五三名の観覧者が見守りました。



ゴールデンウィーク期間中に、子供連れ家族を対象としたイベントを行い、親子でクイズを通して首里城公園に親しみを持つてもらおうと、「首里城親子クイズラリー」を開催しました。案内員（財団職員）のガイドで、公園内の各所でクイズを出題し、回答はその場で行い補足説明も行いました。参加者は五三名で、クイズラリー終了後には、月桃紙で作成した「修了証」と記念品（ストラップ）、首里杜館龍樹の「ソフトドリンク無料券」を全員にプレゼントしました。

参加者へのアンケートでは、「有意義な見学になり、たいへんうれしかった」「琉球の歴史を知ることができとても良かった」などの感想が寄せられました。



三日間で四、五二四名が参加

海洋博公園子ども体験まつり

平成十八年五月三日（水）～五月五日（金）

子どもが楽しめる体験型イベント満載の「子ども体験まつり」をゴールデンウィーク後半に実施しました。今年のメニューは、風車などのおもちゃを作るクラフト作り体験、ハイビスカスやシーサーなどを作る紙粘土作り体験、小さなお子様に人気のぬりえコーナーなどをご用意しました。三日間で、四、五二四名も参加していました。会場となるた噴水広場やおきなわ郷土村には、終日、親子の笑い声が絶えず盛況のうちに終りました。

海洋博覧会地区

年 度	入 園 者		入 館 者 水族館	入 館 者 海洋文化館		熱帯ドリームセンター	植物管理センター
	大 人	小 人		(有料区域)	(無料区域)		
昭和51	375,397	163,781	294,545	36,041	—	—	—
52	853,598	701,627	151,971	446,032	—	38,263	—
53	1,041,540	861,291	180,249	575,256	—	56,603	—
54	1,284,860	1,038,325	246,535	725,053	—	61,181	—
55	1,391,299	1,122,894	268,405	706,320	—	67,721	—
56	1,360,719	1,086,050	274,669	705,671	—	51,531	—
57	1,291,111	1,033,916	256,935	706,991	—	50,775	—
58	1,150,733	963,672	239,761	675,547	—	44,631	—
59	1,520,157	1,231,938	288,219	799,820	—	47,969	—
60	1,572,984	1,246,322	326,662	721,330	—	46,398	185,777
61	1,786,231	1,414,168	372,063	727,136	—	39,857	452,937
62	1,746,251	1,416,977	329,274	782,866	—	36,860	347,838
63	1,822,291	1,466,930	355,368	792,766	—	53,198	333,236
平成元	1,908,411	1,557,283	351,128	886,396	—	65,756	344,116
2	2,073,031	1,694,056	378,975	930,592	—	50,042	376,542
3	1,997,456	1,672,500	352,075	1,030,687	—	50,529	241,55
4	1,847,443	1,616,959	267,145	905,066	—	55,331	409,687
5	1,773,539	1,476,933	296,606	941,174	—	76,390	442,406
6	1,715,978	1,422,087	293,891	880,719	—	45,534	368,626
7	1,648,964	1,502,206	146,758	842,658	—	350,492	21,742
8	1,563,367	1,400,777	162,590	804,593	—	78,111	310,853
9	1,653,591	1,486,559	167,013	800,186	—	65,694	316,960
10	1,666,501	1,391,115	275,394	731,566	—	56,414	287,930
11	1,646,979	1,375,896	271,083	708,045	—	58,515	279,098
12	1,484,501	1,196,400	225,365	613,603	—	58,507	225,365
13	1,306,546	1,150,497	236,049	543,558	—	62,527	190,991
14	2,209,562	1,824,808	384,754	※1 206,761	※2 1,290,807	66,751	171,133
15	2,995,829	2,517,093	478,736	2,487,500	—	2,212,195	31,690
16	2,581,599	2,165,320	416,278	—	2,212,195	31,375	84,737
17	2,827,999	2,369,564	458,435	2,425,176	—	42,608	83,959
計	50,374,844	41,760,127	8,614,717	19,571,857	8,415,678	1,537,319	6,070,047
							279,168

*1 旧水族館は平成14年8月31日閉館 *2 沖縄美ら海水族館は平成14年11月1日開館

入園・入館者数 DATA

首里城地区

年 度	入 園 者		入 館 者 (有料区域)
	大 人	小 人	
平成4	1,114,191	1,032,895	81,286
5	2,148,249	1,978,129	170,120
6	1,841,073	1,690,165	150,908
7	1,852,366	1,709,220	143,146
8	1,771,089	1,647,553	123,536
9	1,887,202	1,773,499	113,703
10	1,973,565	1,822,447	151,118
11	2,095,646	1,922,915	172,731
12	2,105,118	1,961,542	152,345
13	2,035,291	1,857,108	144,058
14	2,361,566	2,189,197	172,369
15	2,513,038	2,331,615	181,423
16	2,455,362	2,244,301	167,401
17	2,569,726	2,345,458	224,268
計	28,735,572	26,539,526	2,196,046
			22,144,040

財団設立 30周年記念事業のお知らせ



海洋博公園30周年記念
サマーフェスティバル2006



海洋博公園30周年記念
サマーフェスティバル2006



首里城公園収蔵品目録



沖縄大深海展



ザトウクジラ尾鰭カタログ



沖縄の海の大動物展



沖縄の海の大動物展

1 海洋博公園30周年記念 サマーフェスティバル2006

●平成18年7月15日 ●海洋博公園内

これまでの感謝をカタチに
これからの発展をめざして

開園30周年を記念し、過去最高の10,000発の花火を打ち上げ、初の試みとなる伊江島とエメラルドビーチの花火の競演とレーザーショーで県内最大級の花火大会を演出する。

財団設立30周年を記念し、首里城公園が開園以来収集してきた資料について、「収蔵品目録」として発行し、関係機関等へ配布することにより、首里城の収集資料に関する知識の普及啓発を図る。

開園30周年を記念し、これまで財団が収集してきた沖縄の深海生物の資料及び(独)海洋研究開発機構の資料を沖縄美ら海水族館において展示し、沖縄の深海生物についての知識の普及啓発を図る。

財団設立30周年を機に、財団広報誌を発行し、財団の役割や事業について内外に発信する。

5 財団設立30周年記念講演会

●平成18年8月4日 ●沖縄都ホテル

財団設立30周年を記念し、関係者を招き祝賀会を実施する。

8 30周年記念オリジナル商品発売

●平成18年8月5日

●ショップブルーマンタ・ショッップやんばるの杜

開園30周年を記念し、泡盛オリジナルボトル(720ml)を制作し、販売する。

9 海洋文化に関するシンポジウム

●平成18年9月 ●那覇市内ホテル

開園30周年を記念し、海洋文化をテーマとしたシンポジウムを実施。海洋文化館の利用促進を図る。

開園30周年を記念し、これまで財団が収集してきた沖縄の海の大動物の資料を沖縄美ら海水族館において展示し、沖縄の海の大動物についての知識の普及啓発を図る。

財団設立30周年を機に、ザトウクジラに関するこれまでの調査研究結果の一部資料を元にザトウクジラ尾鰭カタログを発刊して、研究機関等に配布し、財団の調査研究結果を発信する。

12 沖縄の水生生物リスト発行

●平成19年2月

開園30周年を記念して、これまで財団が収集してきた沖縄の水生生物の資料をまとめ、「沖縄の水生生物リスト」を制作し、教育



ふしきがいっぽい
公・園・点・描

からは ふづくり

唐破風造

日本建築で屋根の切妻についている合掌形の裝飾板、
またはそれがついているところを「破風」といいます。
さまざまな「破風」形式がありますが、こちらはそり曲が
った曲線状の唐破風造です。玄関・門・神社の向拝な
どの屋根や軒に多く見られます。

首里城正殿の別称を「唐破風」といいますが、これは
元の「唐破風」に縁起の良い文字を充てたものです。

財團法人 海洋博覽会記念公園管理財團広報誌

季刊誌

南ぬ風

創刊夏号
Vol.1 2006.8~2006.12

発行/財團法人 海洋博覽会記念公園管理財團

2006年8月1日発行

発行責任者 富田 祐次

〒905-0206 沖縄県国頭郡本部町字石川424番地 TEL.0980-48-2741(代) FAX.0980-48-3339

(財) 海洋博覽会記念公園管理財團 kaiyouhaku.jp 沖縄美ら海水族館 kaiyouhaku.com
熱帯ドリームセンター oki-park.jp/tropical 热帶・亜熱帶都市緑化植物園 oki-park.jp/midori
首里城公園 www.shurijo.com 国営沖縄記念公園 oki-park.jp

